

# 大連

— 中国への入口として —

2021年7月28日  
一般社団法人アジアビジネス連携協議会  
武井 克真

# 自己紹介・最近の中国

- 2006年4月～2017年3月  
Genpact DALIAN / Genpact JAPAN / Whenever 大連
- 最近の上海  
屋外でのマスク着用率は低いが、公共の場での着用率はほぼ100%。マスクをしていないと地下鉄には乗れない。バスでも注意を受ける。
- 最近の大連  
7月17日、「大連国際ビーチ祭」が開幕。約2か月間にわたり、大連各地で関連行事が開かれる。（マスクは着用しているが、ほぼコロナ前の雰囲気）

# 大連について

- **遼寧省大連市**

人口：約 600 万人

面積：12.574km<sup>2</sup>（新潟県と同じくらい）

- **大連の魅力**

①生活環境、日本の公的機関も多い

②優秀な日本語人材が豊富

③日本への親近感が高い

- 大連市民：外国人に慣れている、国際都市であることへの誇り



# 日本の公的機関

- 在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所
- 日本貿易振興機構大連事務所（ジェトロ）
- 自治体事務所  
→神奈川県（1990年2月設立）、宮城県、岩手県、富山県、新潟県、北九州市、青森県（業務委託）
- 大連日本商工会（会員数712、2021年5月現在）
- 大連日本人学校（小学部83名、中学部21名、計104名）
  
- 2021年7月6日、大連市と神戸市が「連携・協力に関する覚書」をオンラインで調印
- 在留邦人：4,787人、進出日系企業：1,892社（2019年10月1日現在）
  
- 日系の縫製工場は何社かある  
ある会社は、ファッション雑誌にも載るブランドのレザー製品を作っている

# 大連と日本語人材

- 大連外国語大学  
（1964年9月、大連日本語専科学校として設立）
- 東北財経大学
- 遼寧師範大学
- 大連理工大学（理系学部日本語強化班）
- 大連民族大学
- 大連大学
- 大連交通大学（5年制のIT+日本語の課程）
- 大連海事大学
- 大連海洋大学
- 大連工業大学
- 大連東軟信息学院
- 大連科技学院
- **日本語学部の在校生（2021年3月現在）：7,808人（出所：ジェット口大連）**
- **馬興国教授（1946～2017）**
- 大連日本語専科学校の第一期生
- 遼寧大学日本研究所所長、遼寧大学副学長
- 「一休さん」の翻訳者
- 1998年 中国政府より「特別貢献専門家」名誉称号授与（教育分野の業績）
- 2002年 日本政府より「外務大臣表彰」授与（日本と中国の相互理解の促進と友好親善の業績）

# 大連の日本関連の行事、団体

- キヤノン杯日本語弁論大会  
（1990年から毎年開催、小学生の部から大学生の部まで）
- 大連日本商品展覧会／中日（大連）博覧会・日本商品展覧会  
（2020年：530ブース、10.3万人の来場者、販売額は2.4億元、約2600件の商談）
- MA-TSU-RI ～夏之夜～＋大連日本商品巡回展
- 大連ジャパンプランド
- 地方銀行合同商談会
- 中日10都市アカシアウォーキング大会
- 茶道裏千家淡交会大連同好会
- 大連日本調理師会
- 華道、空手、剣道、県人会、同窓会などのサークル
- 大連留学生社団
- 盛唐・小京都  
--- 温泉ホテル＋別荘＋商店街
- O2O 体験店  
--- オンライン（越境EC）とオフライン（一般貿易）を繋ぐ  
--- 越境ECは関税が安く、貿易手続きも簡素化されているが、オンラインで個人へしか売れない  
---O2O 体験店には越境ECで扱っている商品も展示できる→輸入業者などの目に留まる可能性も

# ビジネスや交流の例

- **人材不足への対応**

- 中国からの採用（日本就職への希望は続く、但し介護人材は中国でも不足）
- 中国へのアウトソーシング（BPO、ITO）

- **新規市場の獲得**

- アウトバウンド（輸出）
- インバウンド（観光）

※コロナ後は、特に食品で検疫が厳しくなったが、国際物流はだいぶ回復している

- **文化交流や学術交流**

- 亜細亜大学、横浜国立大学、立命館大学  
（教員だけでなく、職員も関与し、大学一丸となって進めることが重要）

- **中国人材について**

- 上昇志向が強い（発展空間）
- 転職は当たり前（転職は能力の証明）
- ジョブ型雇用が普通
- 担当業務への責任感は非常に高い  
↓

- 入社後、どの様に成長していけるのか示してあげることが重要

- 指示、担当してもらう業務範囲は明確に

「引っ越しできない隣国」

ありがとうございました。